

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名（地区内集落名）	作成年月日	直近の更新年月日
益子町	埴・星の宮	R 3 年 3 月 1 2 日	年 月 日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	279.1ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	164.4ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	58.6ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	43.6ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	9.6ha
(備考)	

2 対象地区の課題

10年後、担い手不足に陥ることが考えられることから、若い人への何らかのアクションが必要。農事組合法人や大規模農業者等が中心となって営農しており集積・集約が可能だが、新たな担い手を見つける必要がある。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

農地利用については、中心経営体である法人や大規模農家が担う他、入作を希望する担い手の受入れを促進することにより対応していく。

耕作放棄地は多面的機能支払交付金を今まで通り活用し、担い手が維持管理していく。

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針（任意記載事項）

ほ場整備は実施予定。

米麦等の土地利用型作物以外に、収益性の高い露地野菜の生産に取り組む。

将来の経営農地の集約化を目指し、農地所有者は出し手・受け手に関わらず、農地を機構に貸し付けていく。中心経営体が病気や怪我等の事情で営農の継続が困難になった場合には、農地バンクの機能を活用し、農地の一時保全管理や新たな受け手への付け替えを進めることができるよう、機構を通じて中心経営体への貸付けを進めていく。